



来年度の教育課程について

副校長 鈴木 淳

先日の授業参観・道徳授業地区公開講座では、感染症対策のため、リモート公開とさせていただきました。家庭数の約76%の方からアクセスをいただきました。の画質や音質は十分ではありませんでしたが、教室の前にカメラがあったことで、普段の公開より子供の表情が見られてよかったなど、感想を多数いただきました。また、アクセス方法が難しかったなど問い合わせやご意見もいただきました。今後も同じような対応をすることも考えられます。いただいたご意見を参考に、改善していきます。

さて、この時期は、今年度の教育活動を振り返り、来年度に向けた教育課程の編成を行っています。保護者の皆様には、12月に「学校アンケート」にご回答いただきました。122人の皆様に回答いただきました。アンケートの結果を踏まえて、教職員全体で検討し、以下のことを行うことを確認しました。

- 外国語や外国語活動の学習をより充実させるために、教員間で学習指導の研鑽を行ったり、年間を通じたモジュールの計画を立てたりする。
- 今後も、児童の力をより伸ばすためのカリキュラムづくりや様々な一人一台端末やICT機器などの活用を進めていく。
- 児童理解やいじめ防止に努め、子供たちの小さな悩みやささいなトラブルも解決に向けて迅速に対応し、児童との関係づくりを大切に。いじめや不登校の対応なども含め、日頃から積極的に保護者の方に児童の様子を発信し、課題を共有しながら、丁寧に対応していく。
- 日頃の授業や、運動会、学芸の行事など、様々な活動の場において、目的意識を高めるような指導を行い、振り返りや認め合いの場を意図的に設定し、互いの違いやよさを認め合ったり、自己の成長を見つめたりしながら、自己肯定感を高められるようにしていく。
- クラスでの当番や委員会を通して、任された仕事ややると決めたことに責任をもち、最後まで粘り強く取り組む態度を育む。
- 体力テストの結果を職員がしっかり把握し、日頃の授業に反映していく。
- 異学年での交流（表現を見せ合うことなど）で、関係が深まった様子が見られる。現在の異学年交流の形で、交流への意欲を高めていく。
- 今後も、単元などに関連して、地域の方、ゲストティーチャーの活用を継続していく。
- 八小レガシーとして、しょうがいしゃ理解教育を深めていく。
- 生命尊重や人権教育、望ましい人間関係の育成に関する具体的な取組をはじめ、子供たちの成長した姿を通して、学校の取組をお便りやClassroom等を活用し、保護者・地域に発信していく。

アンケートの結果も踏まえ、教育課程を編成しています。「1人1台端末やデジタル教科書の活用により、個別最適な学びの実現」「学校生活満足度調査を活用して、児童理解に基づく学級・専科経営の充実、いじめや不登校の未然防止」「八小のオリパラレガシーとしてしょうがいしゃ理解教育の継続」などがキーワードとして挙がっています。それらを実現すべく意図的・計画的で組織的な取組となるよう教職員とともに案を検討しています。

【 書き初め展 】

子供たちが、新年の決意を込めて取り組みました。保護者の皆様には、22日（土）の放課後に見ていただきました。ご多用のところ、ご来校ありがとうございました。

さくら学級は、全員毛筆にチャレンジしました。1、2年生は硬筆で「お正月の朝」「うれしいお正月」。3、4、5、6年生は毛筆で「お正月」「元気な子」「希望の朝」「夢の実現」を書きました。静かで程よい緊張感がある中で書くことができました。短い期間でしたが上達した子が多く、集中して、一字一字丁寧に書いていました。冬休みの課題として取り組んだ学年も多かったことと思います。各家庭でのご協力、大変にありがとうございました。



【 道徳授業地区公開講座 】

22日（土）の公開は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモートでの開催となりましたが、たくさんの方に参観していただきました。本当にありがとうございました。

リモートでの公開は初めてでしたが、保護者の方から「先生の目線で見ることができたので、子供たちの様子が分かった。」「このようなリモートでの参観は良かったと思う。」というお声をいただきました。

また、道徳の授業においては、「感情について思考する、人間関係において必要なことなので、とても大事な授業だと思う。」「コロナが落ち着いて、より自由に活動できる様になれば良いと思う。」というようなご意見をいただきました。

子供たちは、授業に集中して友達と意見を交わしたり、発表したりしていました。一生懸命学びに向かう姿が見られたのではないかと思います。

授業ではもちろん、学校教育全体で道徳教育を進め、今後も子供たちの心を育ていけるように日々の授業に活かしていきます。

【 命の授業 】



26日（水）に「めぶき助産院」の助産師さんをお招きして、命の授業を行いました。性の多様性や心・体の変化、赤ちゃんの誕生など、幅広くお話いただき、多くの視点から「命」について考えることができました。特に、赤ちゃんの成長過程について実物大の模型とふれ合う場面では、大きさの変化に気付いたり、実際にだっこした

りして命の重さを感じていました。「自分の命」、「みんなの命」について考える、とても有意義な時間になりました。



2月の行事予定

生活目標 : 「感謝の気持ちを伝えよう」・「体をきたえよう」

1日(火)	安全指導 食育週間(始)	18日(金)	桜守活動(3年)
2日(水)	委員会活動		なかよしタイム(3・4年)
3日(木)	新1年生保護者会		オリパラ講演会(5・6年)
	1～3年4時間授業	21日(月)	PUT週間(始)(持久力)
4日(金)	食育週間(終)		オリパラ劇
9日(水)	4～6年5時間授業		(1・2年)(さくら学級)(3・4年)
10日(木)	第7回校内研究授業(6年)(4時間)	22日(火)	昔の道具体験(3年)
11日(金)	建国記念の日		特別支援学級合同学習
15日(火)	なかよしタイム(1・6年)	23日(水)	天皇誕生日
16日(水)	クラブ活動(最終)	28日(月)	保護者会(1・2・3年)
17日(木)	なかよしタイム(2・5年)		PUT週間(終)